

# 2023年技能五輪国際大会 基本構想(概要版)

---

2017年3月



# 技能五輪国際大会

## 技能五輪国際大会とは

国際的に技能を競うことにより、参加国の職業訓練の振興や技能水準の向上などを図るとともに、青年技能者(満22歳以下)の国際交流と親善を目的に、2年ごとに開催されています。約60カ国・地域から約1,200名の選手が参加し、50職種程度の競技で技能を競う大会です。

## WSI(ワールドスキルズインターナショナル)とは

技能五輪国際大会の運営組織で、76カ国・地域の団体(2016年10月現在)が加盟しています。日本は、中央職業能力開発協会(JAVADA)がメンバーとなっています。

# 大会基本コンセプトの考え方

### ■WSIのビジョン

#### 技能の力で私たちの世界を発展させる

技能はどのように世界を発展させるのか

技能を大切にすることで私たちはどのような社会を実現しようとしているのか

### ■日本及び愛知県に招致する理由、意義

愛知県に受け継がれてきた「技能」を尊重するDNAと「創造」の精神

様々な国際イベントで愛知県が発信してきた「多様性の保全」や「持続可能な社会」へのメッセージ

#### 単なる競技大会でなく、一つのムーブメント

技能競技大会の知名度や関心をどのように高めていくのか

技能の力で世界を発展させるためのムーブメントに参加する関係者をどのように拡大していくのか

豊富な国際イベントで培ってきた展示演出やコミュニケーションの技術と安全・安心で快適なおもてなし

技能五輪全国大会の連続開催との連携による継続的、持続的な取組の可能性

### ■2023年技能五輪国際大会の方向性

#### 技能の価値に対する理解と共感を獲得する、国際的な対話と交流の場

産業都市・職業訓練先進地としての特色と、国際イベントの開催実績を生かし、技能競技大会の「参加体験価値」と「社会的価値」の拡大に挑戦する。

### ■対話と交流のテーマ

#### 創造性

愛知がものづくりの歴史の中で育んできた果てしない創造の取組に着目しながら、創造の基盤となる「技能」の重要性を再認識するとともに、新たな時代の「ものづくり」と「技能」の関係性を探求する。

#### 多様性

国籍、年齢、性別、障害の有無などを超え、多様な人々が「技能」を共通言語として協力し合うことの価値を共有するとともに、そこから生まれる新たなイノベーションの可能性を追求する。

#### 持続可能性

地球温暖化、経済格差の拡大など、現代社会の持続可能性を脅かしている様々な課題に対し、「技能」は何をなし得るのか考察し、発信するとともに、技能競技大会の持続的な発展に貢献する。

# 大会基本コンセプト

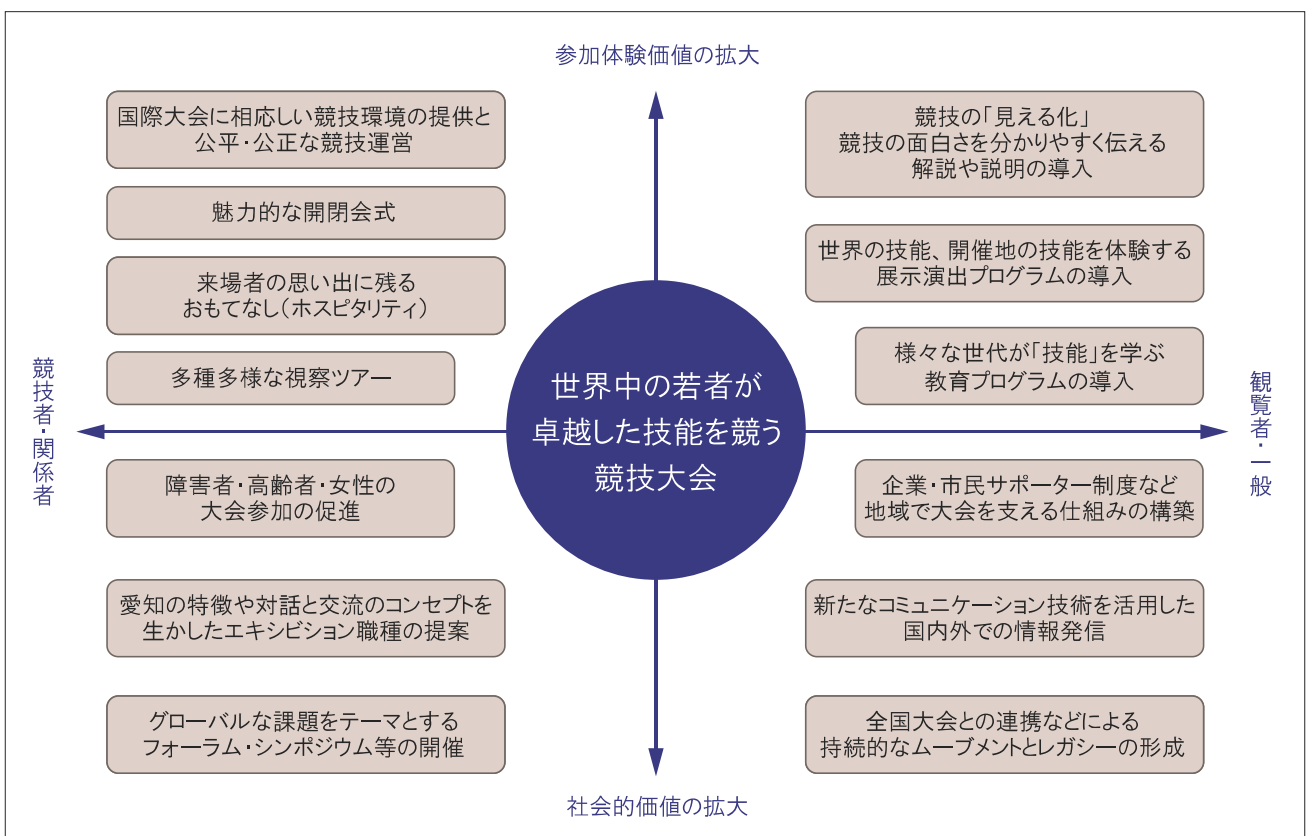
## 「技能をめぐる対話 Dialogue over Skills」

創造性あふれる技能と多様な人々が協力し合うことによる、世界の持続的発展

### 大会基本方針

- 国際大会にふさわしい競技環境と公平・公正な競技運営を実現するとともに、産・学・行政・市民の連携により、競技者・関係者の思い出に残るおもてなしを提供します。
- 競技の見どころを分かりやすく伝える解説プログラム、世界の技能、日本・愛知の技能を体験する展示プログラム、誰もが楽しくものづくりに参加体験できる教育プログラムの導入により、観覧者の技能競技大会への参加体験価値を拡大します。
- 「創造性」、「多様性」、「持続可能性」など、今日のかつグローバルな課題をテーマとする国際会議やエキシビション職種を実施することで、技能競技大会の社会的価値を拡大します。
- 技能の価値を広く社会と共有するために、多様な主体による大会への参加機会を設けるとともに、放送と通信を融合する新たなコミュニケーション技術等を活用し、国内外に向けて大会の情報発信に取り組みます。
- 愛知県が連続して開催する技能五輪全国大会とも連携しつつ、技能尊重機運の醸成に持続的・継続的に取り組むとともに、国内外に継承されるレガシーを追求します。

### ＜新たな技能競技大会モデルのイメージ＞



# 技能競技(Skills Competition)

国際大会にふさわしい公平・公正な競技運営を実現するとともに、創造性・多様性・持続可能性をテーマとするユニークな職種を愛知から提案します。

## 公式職種・デモンストレーション職種

過去の公式職種を踏まえ、WSIとの連携のもとに選定します。また、新たな時代を捉えた新職種の導入についても検討します。

## エキシビション職種

公式職種に加え、公式評価対象外となるプレゼンテーション職種、エキシビション職種などが実施されています。2023年技能五輪国際大会(以下、本構想では「愛知大会」という。)では、「創造性」、「多様性」、「持続可能性」という3つのテーマを踏まえ、愛知の特徴を生かした職種の検討・提案を行います。

### 創造性

- AI(人工知能)や3Dプリンターなど、次世代のものづくりにイノベーションを起こすことが期待されている技術分野に関する職種
- ロボット、航空宇宙など、愛知の特徴である先端技術に関する職種

### 多様性

- 障害者と健常者が協働して取り組む職種
- 国際アビリンピックを併催する場合には、国際アビリンピックとの連携による相乗効果にも配慮

### 持続可能性

- ソーラー発電、蓄電技術、水素燃料、炭素繊維、壁面緑化、水耕栽培など、地球環境の持続可能性に関連する職種
- 陶芸、絞り、盆栽など、愛知及び日本の伝統的のものづくり等に関する職種



(競技会場イメージ)



# 公式行事(Official Event)

大会テーマや地域の魅力を発信する開閉会式に加え、技能の普遍的価値と未来像を展望する国際会議、あいちの産業観光を体験する視察ツアーを開催します。

## 開会式(Opening Ceremony)

ユネスコ無形文化遺産に登録された「山・鉾・屋台行事」で使われる「山車」を起点に、愛知(日本)に受け継がれてきた技能の粋を表現



(開会式イメージ)

## 閉会式(Closing Ceremony)

世界中の参加者が互いの健闘を讃えあい、友好を深める機会とするとともに、ダイバーシティ・コンセプトを表現するアトラクションを展開

## 国際会議(Conference)

WSIの総会、理事会等に加え、技能のこれまでとこれからを展望するディスカッションなど、多彩な国際会議を開催

- 世界の技能者が自らの経験などを語るショートプレゼンテーション(Skills Talk)などを実施することで、「技能をめぐる対話」という大会コンセプトを積極的に追求

### 創造性

- ものづくりに関連する革新的な技術の登場と、それによる技能の今後の動向
- 技能者の創造性を生かす社会とは など

### 多様性

- 世界の技能の多様性とその価値の発見(世界中の技能者によるショートプレゼンテーション)
- 多様な個性のコラボレーションによるイノベーション実践例 など

### 持続可能性

- 新しい時代の環境技術と技能競技(新規職種の提案に向けて)
- 技能競技大会の持続可能な発展に向けた国際協調 など

## 視察ツアー(Skills Tour)

愛知の先端的な産業や職業訓練、日本のものづくりの奥行きを体感する多彩な視察ツアーを提供

- 世界中から集まる競技者、関係者などに、あいちの産業観光を体験していただく視察ツアーを提供
- 愛知のものづくりの現場を見学できる工場見学のほか、日本建築の粋を集めた名古屋城本丸御殿や、トヨタ産業技術記念館、リタケの森、リニア・鉄道館など、愛知県内の各種ミュージアムを巡るツアーを造成
- 隣接する岐阜県と三重県、日本の古都・京都を訪ねるツアー、昇龍道プロジェクトとの連携等による中部北陸地域に広がるツアーなど、日本のものづくりの奥行きを感じられるツアーを計画

# 併催イベント(Special Event)

愛知大会の特色として「競技の見える化」に取り組むとともに、技能の価値と未来に感動的に出会う多彩な対話形式のプログラムを展開します。

## 解説プログラム

### 競技解説(Skills Guide)

- 技能競技の解説を行うガイド・プログラムを開発
- 技能者による対面式の解説
- スマートフォンやタブレットで利用できるセルフガイドの開発(情報関連企業等の協力を検討)

## 展示プログラム

### 世界の技能(Global Skills Village)

- 「グローバル・スキルズ・ヴィレッジ」の実施
- 「創造性」、「多様性」、「持続可能性」という3つのテーマに即し、世界の参加国・地域が自国の技能を紹介するプレゼンテーション・ブースや、グローバルパートナー・ブースなどの設置

### 日本・愛知の技能(Aichi & Japan Skills Showcase)

- 日本及び愛知に受け継がれてきた技能を展示紹介
- 伝統工芸分野の熟練技能者による実演
- 愛知を代表する企業によるブース出展等



(展示プログラム会場イメージ)

## 教育プログラム

### 技能入門プログラム(Skills Labo)

- 次代を担う子どもたちに、体験を通じてものづくりの面白さを伝え、ものづくりへの憧れを醸成する技能入門プログラムの開発
- 技能者など、技能競技で取り入れられている職種の専門家と、アーティストやファシリテーターなどの協働により、これまでにない体験プログラムの開発(プログラム開発を支援する企業スポンサー制度など新たな企業参加システムの導入)

### ジュニア・スキルズ(Junior Skills)

- 次代を担う子どもたちに、人と競い合うことを通じ、ものづくりの楽しさや難しさを体験してもらう技能競技大会の開催

### キャリア相談(Careers Advice)

- 技能競技を通して様々な職種に興味を抱いた青少年層を主な対象として、その職種の仕事に就くためには何をなすべきかのアドバイス

### 職業訓練施設の公開、企業見学等(Open Skills)

- 愛知県内の企業内職業訓練施設、公共職業訓練施設を見学できるオープン・キャンパスの実施
- 愛知県内で工場見学などを実施している企業などに、愛知大会開催期間中の特別プログラムの提供を呼びかけ、一体的な広報の展開
- 競技会場に隣接する中部国際空港でのボーイング787の展示施設や、県営名古屋空港に隣接の日本初の国産ジェット旅客機(MRJ)の製造工場、あいち航空ミュージアムの見学ツアー等
- 自動走行や燃料電池自動車(FCV)、ロボットなどの最先端技術を体感できるプログラム

# 開催時期

2023年10月から11月の10数日間

WSI関係会議等(6日間)	開会式	競技(4日間)	閉会式	WSI関係会議
---------------	-----	---------	-----	---------

# 開催場所

競技会場:「愛知県国際展示場」


開閉会式・パーティー会場:「ナゴヤドーム」又は「ポートメッセなごや」

**愛知県国際展示場(空港島) / 2019年秋開業予定**

敷地面積: 28.7ha  
施設面積: 建築面積8.6万㎡(内展示面積6万㎡)  
アクセス: [鉄道] 名古屋駅から乗換え無し28分 [車] 中部国際空港連絡道路  
中部国際空港駅から連絡通路で直結 セントレア東ICから約1分

- 競技会場: 常設展示ホール60,000㎡+屋外仮設建築物約40,000㎡
- 会議場・併催イベント・レストラン他: 常設会議室、エントランスホール+屋外仮設建築物


※ 常設展示場だけでは大会会場として面積が不足するため、屋外敷地に仮設建築物を設置



※イメージ図は、株式会社竹中工務店名古屋支店からの提案に基づく現時点でのイメージであり、今後、設計により変更される場合があります


**ナゴヤドーム**

アクセス:  
[鉄道]  
名古屋駅からナゴヤドーム前矢田駅(約20分)  
[車]  
東名高速・名古屋ICより約20分  
(写真出典)「ナゴヤドーム」ウェブサイト  
[http://www.nagoya-dome.co.jp]より



**ポートメッセなごや**

アクセス:  
[鉄道]  
名古屋駅から金城ふ頭駅(24分)  
[車]  
伊勢湾岸自動車道・名港中央ICより約5分  
(写真出典)「ポートメッセなごや」ウェブサイト  
[http://portmesse.com]より



# 広報コミュニケーション

招致活動、開催準備を通し、技能五輪国際大会の知名度向上と社会的価値の発信に努めるとともに、放送と通信を融合する新たなコミュニケーション技術などを活用し、国内外への情報発信に努めます。

<b>招致活動期</b> 2017年~2019年	
国内 ○ 広報コミティの設置(有識者等による広報戦略策定) ○ 招致シンボルマーク、マスコットキャラクター等の策定 ○ 県民向けシンポジウム等の開催 ○ 技能五輪全国大会・全国アビリンピック等でのPR	○ 日本全体のグローバルMICE戦略と連携したPR(2018年ディスティネーション・キャンペーン等) ○ 経済団体、企業等へのPR ○ 各種広報ツールの制作 ○ 招致ホームページ・SNS等の開設と運用 など
国際 ○ WSI関係者に対する愛知大会のコンセプト、愛知の魅力のPR	○ 国、民間などとの協力による招致活動の展開 など
<b>開催準備期</b> 2019年~2023年	
国内 ○ 技能競技紹介映像等の制作 ○ 2019年度技能五輪全国大会と2020年度技能五輪全国大会・全国アビリンピックでのPR・企業等参加促進(解説プログラム・教育プログラム等の先行開発と試行)	○ 2019年ラクビーワールドカップとの連携 ○ 2020年オリンピック・パラリンピックやワールドロボットサミットとの連携 ○ 各種広報・告知ツールの制作 ○ 大会ホームページ・SNS等の開設と運用 など
国際 ○ 国際シンポジウムの先行開催	○ 技能五輪全国大会にWSI関係者やアジア諸国の関係者等の招待 など
<b>開催期間</b> 2023年	
国内 ○ 集客圏に応じた広報、広告宣伝活動 ○ 旅行代理店等を通じたツアー商品販売 ○ 来場者用プログラム等の作成	○ ウェルカムバナーの設置 ○ メディアセンターの設置 など
国際 ○ 動画クラウド配信サービス(Skills Cloud)の提供	○ 国際シンポジウムの開催 など
<b>成果伝達期</b> 2023年~	
国内 ○ 公式記録集、公式記録映像などの作成 ○ ホームページを活用した、インターネット上における記録保存	○ 解説プログラム・教育プログラムなどの継承と普及 など
国際 ○ 国際シンポジウムの継続開催	○ 顕彰制度の創設 など

# ムーブメントとレガシー

## ムーブメントの形成

技能五輪全国大会との連携を生かし、多彩な関係者に対し、技能の力で世界を発展させるムーブメントへの参加を促進します。

## レガシーの形成

技能競技の中心地としてのステータスを獲得するとともに、国内及びアジアを始めとした国際社会におけるムーブメントの拡大に貢献します。

<愛知の視点から>

ものづくりの発展

職業訓練の発展

産業観光の発展

<国内の視点から>

全国大会の定期開催

解説プログラムの継承・普及

教育プログラムの継承・普及

<国際貢献の視点から>

国際会議等の継続開催

人材育成セミナー等の開催

顕賞制度の創設

## 今後のスケジュール

